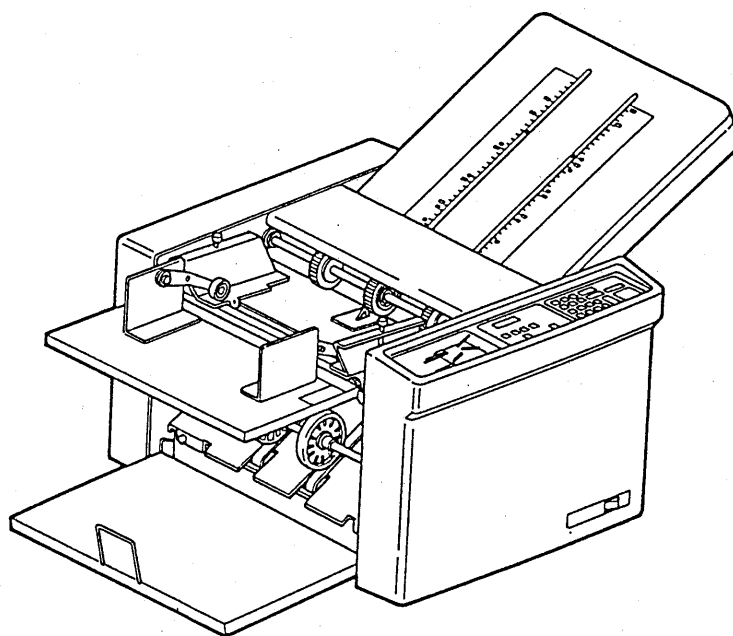


取扱説明書

全自動型紙折機 F-45A



ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。また、いつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

- ・ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みください。
- ・ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、危害や損害を未然に防止するためのものです。
- ・「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。










●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

安全上の注意

警告



	1 交流100V以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線しないでください。火災・感電のおそれがあります。
	2 この機器の上に花瓶・植木鉢・コップや水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電のおそれがあります。
	3 この機器のカバーは外さないでください。感電やけがのおそれがあります。
	4 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、コードの上に重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電のおそれがあります。
	5 この機器の改造はしないでください。火災・感電のおそれがあります。
	6 発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。
	7 異物（金属片・水・液体）が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電のおそれがあります。
	8 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

 **注 意**

	1 ローラーなどの駆動部分には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	2 髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラーなどの駆動部分にたらないでください。 けがの原因になります。
	3 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。
	4 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。
	5 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っばるとコードが傷つき火災・感電の原因になります。
	6 本機器を移動される場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 コードが傷つき火災・感電の原因になります。
	7 給紙テーブル及び排紙テーブルが正しくセットされているか、確認してください。 外れてけがの原因になります。

はじめに

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。

特に「 警告」(2ページ)「 注意」(3ページ)は必ずお読みの上、正しくお使いください。

この「取扱説明書」は、必要な時にいつでもお読みになれるように、保管場所を決めて、大切に保管してください。

この製品は改良のために、仕様を変更する場合があります。このため同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので、製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

安全上の注意	2
1. お使いになる前に	5
(1)使用方法・使用場所の注意	
(2)付属品の種類・数量の確認	
(3)本体各部の名称	
(4)操作パネルの名称とはたらき	
2. ご使用方法	8
(1)準備	
(2)定形サイズ用紙の折り形	
(3)折り位置の修正の方法	
(4)修正された折り位置の記憶の方法	
(5)記憶された折り形	
(6)記憶された折りの解除の方法	
(7)定形用紙の定形折りと記憶された折り形	
(8)定形外用紙の折り形	
(9)定形外用紙の記憶1・2・3のセット方法	
(10)定形外用紙の記憶1・2・3の解除の方法	
(11)排紙ローラーの位置調整の方法	
(12)減算カウンターのセットの方法	
(13)「点検ランプ」部が点滅している時の処理の方法	
(14)斜行調整の使い方	
(15)特殊な折り形	
3. お手入れについて	18
(1)バッテリー交換	
(2)清掃	
(3)消耗品について	
4. 故障と思う前に	19
(1)トラブルの内容と対策	
(2)故障の場合	
5. 仕様	20

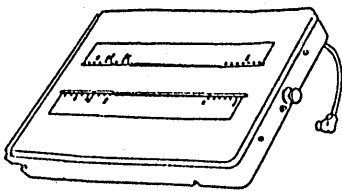
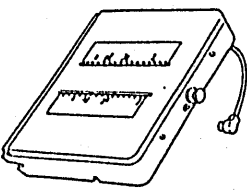
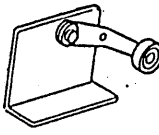
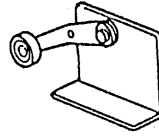
1 お使いになる前に

(1)使用方法・使用場所の注意

⚠ 注意	
⊘	1 ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
	2 湿気やほこり多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因になります。

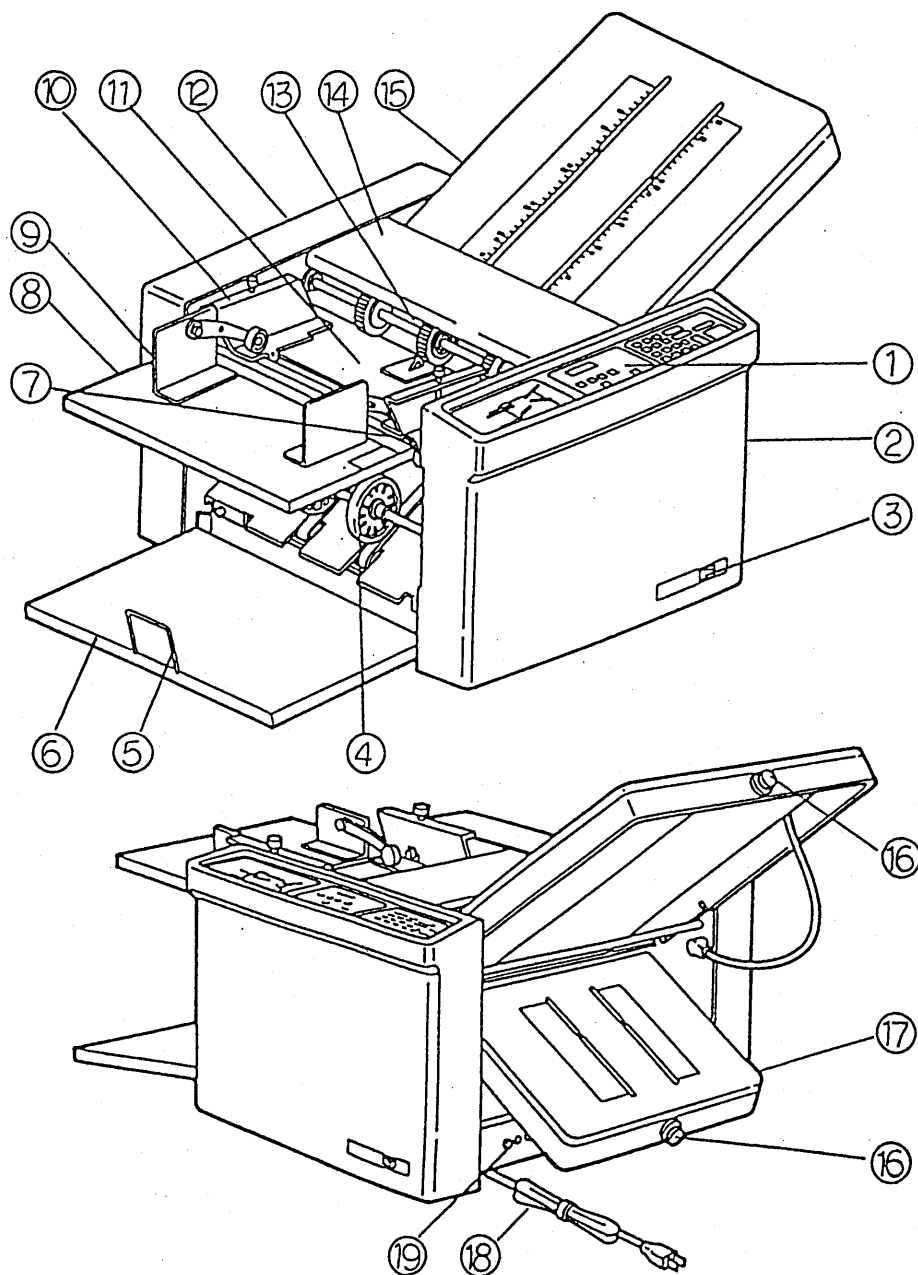
- ・直接日光の当たる場所に設置しないでください。
- ・窓際はなるべくお避けください。
- ・暖房器具に近い場所に設置しないでください。
- ・風が直接当たる場所に設置しないでください。

(2)付属品の種類・数量確認

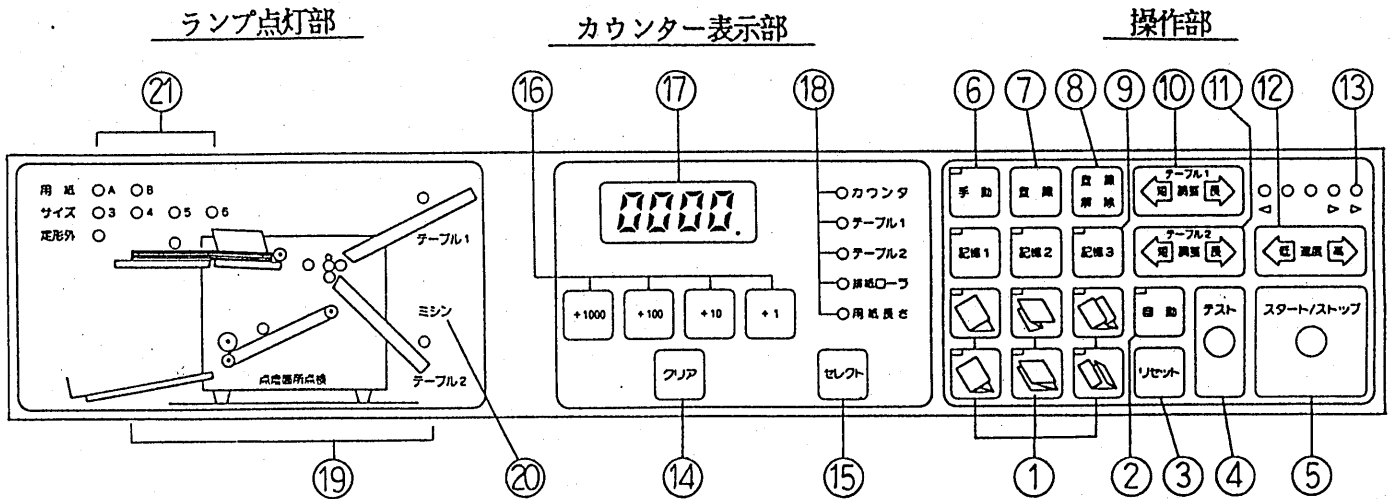
付 属 品	個数	☒
1. テーブル1	1	
2. テーブル2	1	
3. 補助用紙ガイドAss'y 左	1	
4. 補助用紙ガイドAss'y 右	1	
5. 機械カバー	1	_____
6. 取扱説明書	1	_____
7. 保証書	1	_____

(3) 本体各部の名称

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| ①操作パネル | ②右化粧カバー | ③電源スイッチ |
| ④排紙ローラー | ⑤排紙ストッパー | ⑥排紙テーブル |
| ⑦斜行調整つまみ | ⑧補助テーブル | ⑨補助用紙ガイド |
| ⑩用紙ガイド | ⑪給紙テーブル | ⑫左化粧カバー |
| ⑬給紙ローラー | ⑭ローラーカバー | ⑮テーブル1 |
| ⑯ストッパー微調整つまみ | ⑰テーブル2 | ⑱電源コード |
| ⑲ブレーカー | | |



(4)操作パネルの名称とはたらき



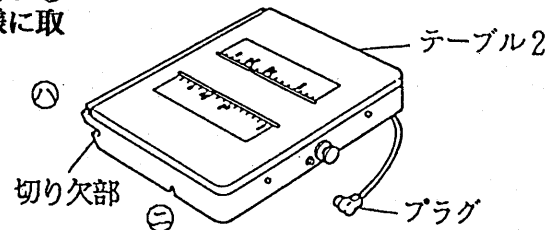
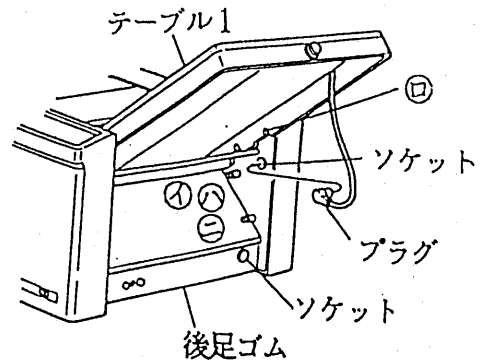
No.	名 称	は た ら き	参照頁
1	折 形 キ ー	6種類 of 折り形をセットする時に押します。	10
2	自 動 キ ー	自動セッティングの時に押します。	9
3	リ セ ッ ト キ ー	点灯箇所点検の原因を取り除いた後に点灯箇所を解除する時に押します。	16
4	テ ス ト キ ー	試し折りをする時に押します。	10
5	スタート/ストップキー	紙折りの開始・停止時に押します。	10
6	手 動 キ ー	手動セッティングの時に押します。	9・12
7	登 録 キ ー	折り位置を調整した後に押しますと、調整された折り位置が記憶されます。	12
8	登 録 解 除 キ ー	調整された折り位置の記憶を解除する時に押します。	13
9	記憶 1, 2, 3 キー	3通りの特殊折りの自動設定ができます。	14
10	テーブル 1 調整キー	テーブル 1 の折り位置を調整又はセットする時に押します。	11
11	テーブル 2 調整キー	テーブル 2 の折り位置を調整又はセットする時に押します。	11
12	速 度 調 整 キ ー	折りスピードを変える時に押します。	10
13	速 度 表 示 ラ ン プ	自動セッティングで電源を入れますと、一番右の最高速のランプが点灯します。	10
14	ク リ ア キ ー	カウンター表示を 0 にしたい時に押します。通常は加算カウンターです。	15
15	セ レ ク ト キ ー	セレクトキーを押す事により、カウンター表示からテーブル 1 のストッパービンの位置を表示します。次に押しますとテーブル 2 のストッパービンの位置を表示します。次に押しますと排紙ローラーの位置が表示されます。次に押しますと用紙長さ(用紙サイズ入力による折り位置自動設定機能)に変わります。次に押しますとカウンターに戻ります。	11・14 15
16	カ ウ ン タ ー 入 力 キ ー	カウンター減算で使用したい時又は排紙ローラーの位置及び用紙長さ寸法をセットする時に押します。	11・14 15
17	カ ウ ン タ ー	加算・減算の枚数表示及びテーブル 1, 2 のストッパービンの位置表示・排紙ローラーの位置、用紙長さの表示。	11・14 15
18	セレクト表示ランプ	セレクトされた箇所のランプが点灯します。	14
19	点 検 ラ ン プ	用紙がなくなった時、又は給紙トラブルが発生した箇所のランプが点灯します。	16
20	ミ シ ン	マシンテーブルを取り付けた時ランプが点灯します。(オプション)	
21	用 紙 サ イ ズ ラ ン プ	給紙テーブルにセットされた用紙のサイズをランプが点灯して表示します。	10

2 ご使用方法

(1) 準備

① テーブル1・2のセット

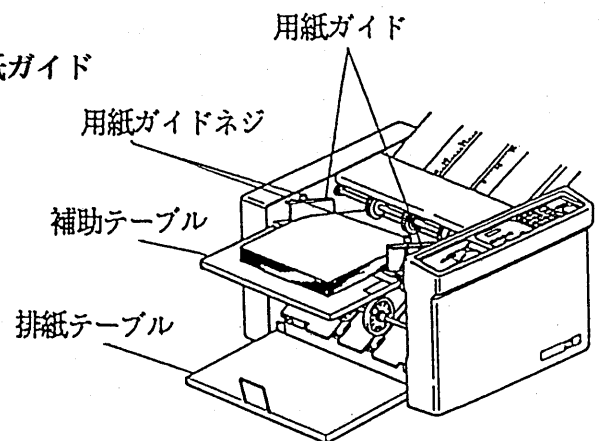
1. テーブル1 (上段) のプラグを左サイド板のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン①にはめ込みます。
2. テーブル2 (下段) のプラグを後足ゴム台のソケットに差し込み、テーブルの切り欠き部の前方をサイド板右・左にカシメられているピン②に差し込み、後端を下に押しながらピン③にはめ込む様に取り付けます。



⚠ 注意	
!	<p>テーブルが正しくセットされているか確認してください。 外れてけがの原因になります。</p>

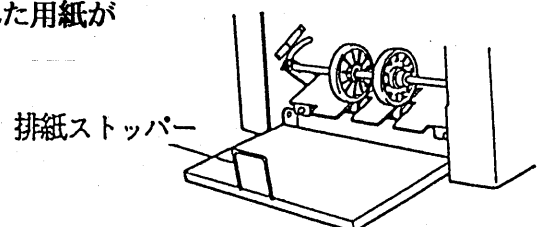
② 用紙のセット

- (1) 排紙テーブルを開き、補助テーブルを持ち上げる様にしてセットします。
- (2) 用紙ガイドを使用する用紙の目盛に合わせます。
- (3) 給紙テーブルに印刷面を上にして用紙を積み、先端が下用紙ガイドに軽くあたる様にします。
※用紙は揃えて載せてください。
※片袖折りの場合は印刷面を下にしてください。
- (4) 用紙ガイドを用紙に密着させて用紙ガイドネジを締めます。



③ 排紙ストッパーのセット

- (1) 排紙ストッパーを持って引き出します。
※排紙ストッパーの位置は用紙サイズに合わせて、排紙された用紙がスムーズに流れる様に設定してください。



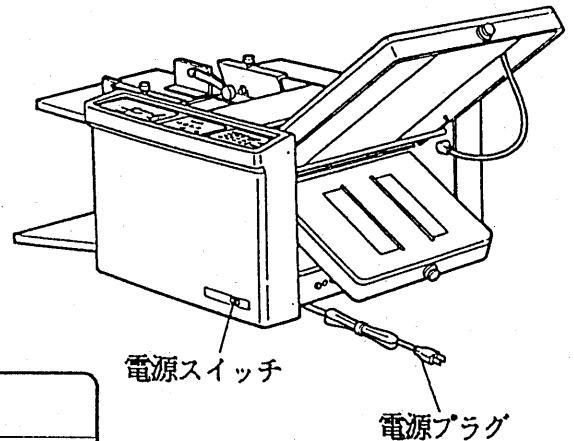
④ ご使用の用紙について



- (1)横目の紙・湿気を帯びた紙・カールした紙等、若干紙折りが悪くなる事がありますが、その時のスピードを遅くするか、または用紙のカールを直してからご使用してください。
- (2)印刷された用紙はインキが良く乾いてから紙さばきをしてご使用してください。乾きが不十分なまご使用されますと機械及び用紙の汚れによるトラブルの原因になります。
- (3)P P Cでコピーした用紙は静電気を帯びていますので、しばらく放置してから、紙さばきをほしてご使用ください。

(2)定形サイズ用紙の折り形

用紙サイズがA3・B4・A4・B5・A5・B6は自動折形設定されます。

- ①電源コードを接続します。
電源プラグを持ってコンセントに接続します。



 注意	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。

- ②電源スイッチを入れます。
 - (1)テーブル1・2のストッパーピンが原位置に移動します。
- ※「手動」キーのランプが点灯していますと、最後に使用した折形にストッパーピンの位置が保持されているために移動しません。
原位置に移動させる場合は、「自動」キーを押しランプ点灯を確認してから電源スイッチを切り、再び入れます。

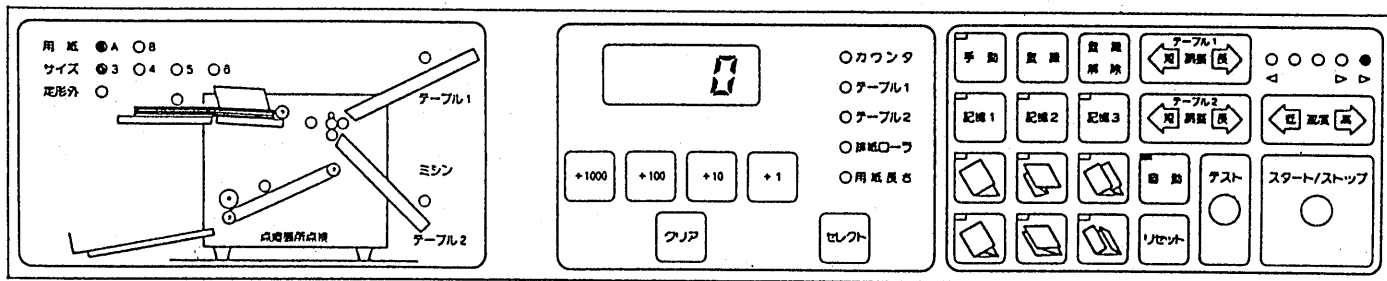
お願い

テーブルのプラグが正しく差し込まれないまま電源を入れますと、「ピーピー」という異常警告音と共に点検ランプが点滅し、折り位置が自動セット出来ません。その時は電源スイッチを「切」にしてプラグを完全に差し込んでから電源を入れ直してください。
また、テーブルのセットが不完全ですと紙づまりやシワ等の要因になり、トラブルが発生します。テーブルの取り付け、取り外しの時は十分に注意して取り扱ってください。

(2)操作パネルが点灯表示されます。

- ・用紙はA又はBが点灯 (例：A 3)
- ・カウンター表示は「0」
- ・自動のランプが点灯
- ・サイズは3・4・5・6の内1つ点灯
- ・セレクト表示は折り角が点灯
- ・速度表示は最右のランプが点灯 (最高速)

※定形外が点灯した場合は14ページの「定形外用紙の折り形」を参照してください。





③折形を設定します。

- ・「折形表示」キー6種類を選択し押しますとランプが点灯し、テーブル1・2のストッパーピンが移動を始め、所定の位置にセットされます。
- ・折り速度は最高(最右ランプ点灯)にセットされます。◀低▶キーを押すことにより低速、▶高◀キーを押すことにより高速に設定できます。

④試し折りをします。

- ・「テスト」キーを押すと、給紙テーブルが上昇し、2枚折られて排紙されます。2枚目に折られた紙を確認し、折り位置がずれている時は11ページ「折り位置修正のしかた」を参照してください。

⚠ 注意	
	ローラーなど駆動部分には絶対に手を触れないでください。 けがの原因になります。
	髪の毛・ネクタイ・ネックレス等をローラー等の駆動部分にたらしめないでください。 けがの原因になります。

⑤紙折りを開始します。

- ・「スタート/ストップ」キーを押すと紙折りが始まります。
- ・カウンター表示「0」は加算カウンターにセットされていますので用紙が終了すると機械は停止して、給紙テーブルは下がります。

※減算カウンターのセットは15ページの「減算カウンターのセット方法」を参照してください。

⑥途中でストップする場合は、「スタート/ストップ」キーを押します。

(3)折り位置修正の方法

- ・試し折りした2枚目を排紙された状態のまま取り出し、テーブル1・2上の図形表示と、「回転方向指示表」(12ページ)を照合しながらテーブル1・2調整キー又はストッパー微調整チマミにて折り位置の修正をします。
- ・「手動」キーを押します。ランプ点灯。

①テーブル1調整キー

(1)「セレクト」キーを押してテーブル1のランプを点灯させてください。

(2)カウンター表示部にテーブル1のストッパーピンの位置が数字で表示されます。

※用紙の長さでテーブルストッパーピンの位置表示は機械的に多少の誤差が発生します。

(3)方向指示表のA面が長い場合はテーブル1の短←キーを押しますとカウンター表示部②の数字が、マイナスされ、その分テーブル1のストッパーピンが移動します。

(4)方向指示表のA面が短い場合はテーブル1の長→キーを押しますとカウンター表示部②の数字が、プラスされ、その分テーブル1のストッパーピンが移動します。

②テーブル2調整キー

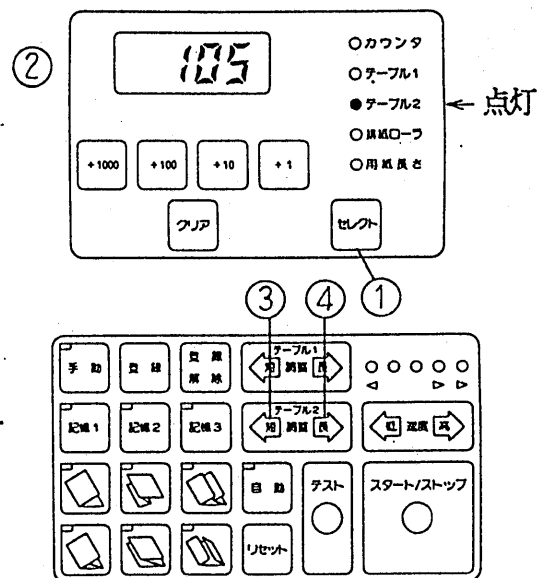
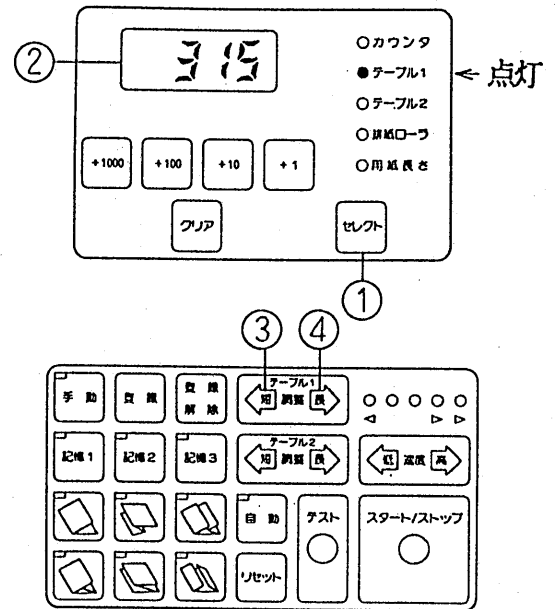
(1)「セレクト」キーを押してテーブル2のランプを点灯させてください。

(2)カウンター表示部にテーブル2のストッパーピンの位置が数字で表示されます。

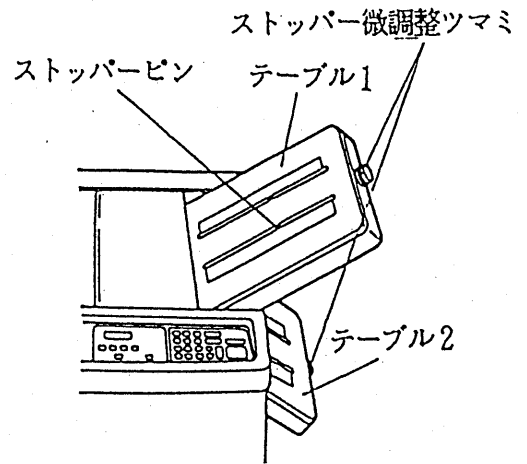
※用紙の長さでテーブルストッパーピンの位置表示は機械的に多少の誤差が発生します。

(3)方向指示表のB面が長い場合はテーブル2の短←キーを押しますとカウンター表示部の②の数字が、マイナスされ、その分テーブル2のストッパーピンが移動します。


(4)方向指示表のB面が短い場合はテーブル2の長→キーを押しますとカウンター表示部②の数字が、プラスされ、その分テーブル2のストッパーピンが移動します。



③ ストッパー微調整ツマミによる修正
 試し折りした2枚目を排紙された状態のまま
 取り出し、テーブル1・2上の図形表示と、
 ツマミ・微調整キー回転方向指示表を照合し
 ながらストッパー微調整ツマミにて折り位置
 の修正をします。
 ※ストッパー微調整ツマミでの修正はカウン
 ター表示部に数字は表示されません。



回転方向指示表

 は用紙表面を表わします。

	折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
テーブル1	紙折りの状態	なし					
	A面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	A面が短い場合	長	長	長	長	長	長
テーブル2	紙折りの状態						
	B面が長い場合	短	短	短	短	短	短
	B面が短い場合	長	長	長	長	長	長

※2つ折りの場合は全用紙サイズ共、テーブル2のみで折られます。

(L=用紙の全長)

折り形	2つ折	観音折	内3つ折	外3つ折	4つ折	片袖折
テーブル1	原位置	L/4	L/3	2L/3	L/2	3L/4
テーブル2	L/2	2L/4	L/3	L/3	L/4	L/4

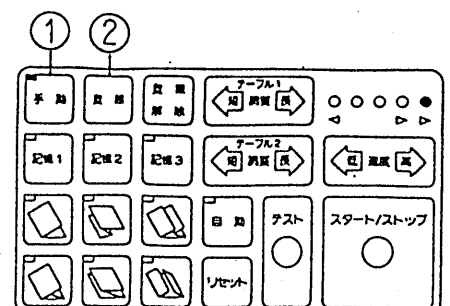
※6種類の定形折りをする場合のテーブル1・テーブル2のストッパー位置と用紙の長さの関係をあらわします。

※修正寸法は上記の表を参考にして、Lに用紙の全長を代入し計算した値を参考にストッパーを移動させます。

④ 試し折りして折られた紙を確認します。

(4) 修正された折り位置の記憶の方法

- ① 「手動」キーを押します。
- ② 「登録」キーを押しますと、修正されていた折形の「折形」キーのランプが点灯から点滅に変わり記憶されます。
 (6種類の定形用紙と6種類の折形で36通り記憶します。)



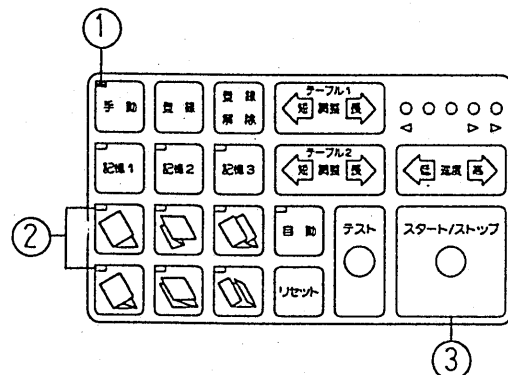
(5) 記憶された折り形

- ・記憶されている用紙を給紙テーブルにセットします。
- ・電源スイッチを入れますと「自動」ランプが点灯してテーブル1・2のストッパーピンが原位置に移動します。

①「手動」キーを押します。

②記憶した「折り」キーを押します。ランプが点滅しテーブル1・2のストッパーピンが移動を始め、所定の位置にセットされます。

③「スタート/ストップ」キーを押すと給紙テーブルが上昇し、紙折りを始めます。

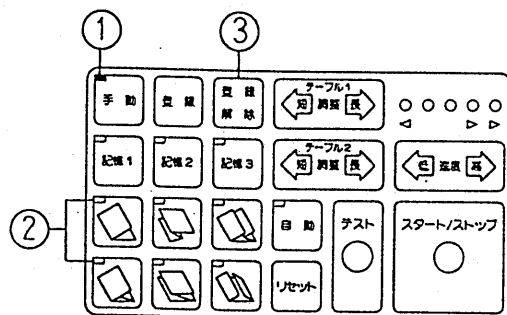


(6) 記憶された折りの解除の方法

①「手動」キーを押します。ランプ点灯。

②記憶している「折り」キーを押します。ランプ点灯。

③「登録解除」キーを押します。記憶していた「折り」キーの点滅が点灯に変わり解除されます。



(7) 定形用紙の定形折りと記憶された折り形

(例) 片袖折りに記憶されたB4の更紙と、B4の上質紙を準備します。

- ・電源スイッチを入れますと、「自動」ランプが点灯してテーブル1・2のストッパーピンが原位置に移動します。

①「手動」キーを押します。ランプ点灯。

②「片袖折」キーを押します。ランプが点灯し、テーブル1・2のストッパーピンが記憶された位置に移動します。

③「スタート/ストップ」キーを押すと、給紙テーブルが上昇し紙折りを始めます。

④「スタート/ストップ」キーを押すと、紙折りがストップして、給紙テーブルが下がります。
・給紙テーブルの更紙を上質紙に変えます。

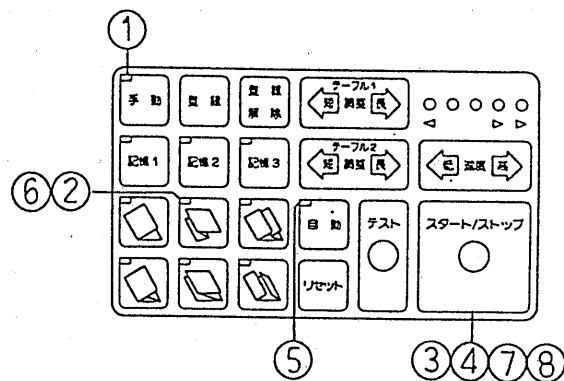
⑤「自動」キーを押します。ランプ点灯。

「片袖折」キーのランプが点滅してから点灯に変わります。

⑥「片袖折」キーを押します。ランプはそのまま点灯し、テーブル1・2のストッパーピンが所定の位置にセットされます。

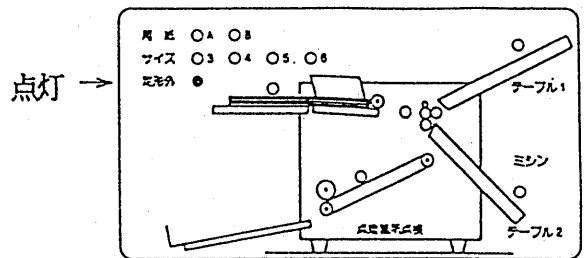
⑦「スタート/ストップ」キーを押すと、給紙テーブルが上昇し、紙折りを始めます。

⑧「スタート/ストップ」キーを押すと、ストップします。

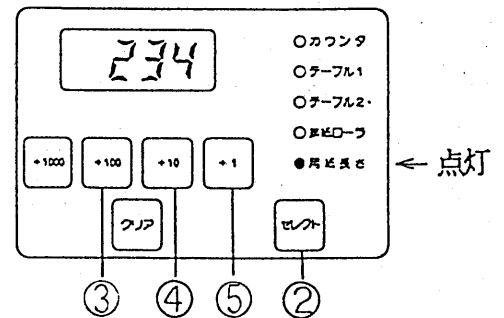


(8) 定形外用紙の折り形

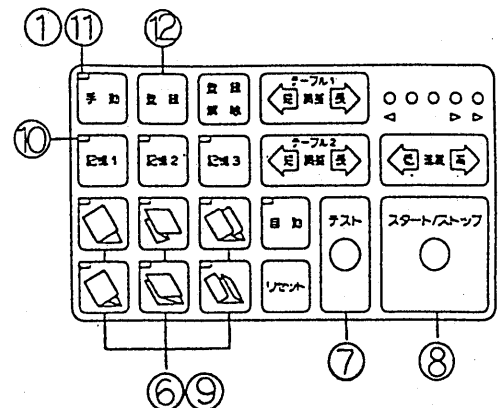
- ・用紙の全長を測定します。
- ・全長の長さ425～180mmまでは入力して折り位置セット出来ますが、それ以外は全長から折りセットができず「テーブル1」「テーブル2」をそれぞれセットが必要です。



- ① 「手動」キーを押します。ランプ点灯。
- ② 「セレクト」キーを押して、用紙長さのランプを点灯させます。
 - ・「クリア」キーを押します。
 - ・用紙の長さを入力します。
 [例] 234mm



- ③ 3桁「+100」キーを2回押します。
3桁カウンター表示が0から2に変わります。
- ④ 2桁「+10」キーを3回押します。
2桁カウンター表示が0から3に変わります。
- ⑤ 1桁「+1」キーを4回押します。
1桁カウンター表示が0から4に変わります。
- ⑥ 「折形」キー6種類を選択して押しますとランプが点灯し、ストッパーピンが移動します。
- ⑦ 「テスト」キーを押して折り位置を確認します。
※折り位置がずれている時は11ページ「折り位置修正のしかた」を参照してください。
- ⑧ 「スタート/ストップ」キーを押して紙折りが始まります。

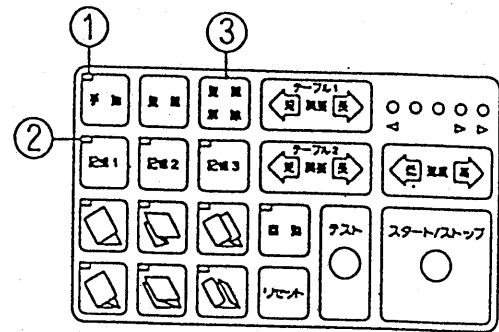


(9) 定形外用紙の記憶1・2・3のセット方法

- ・定形外用紙の折りを3種類、記憶できます。
- ⑨ 上記によりセットした「折形」キーが点灯しています。
 - ⑩ 「記憶1」キーを押します。ランプ点灯。(ランプが点滅していると記憶されません。)
「折形」キーのランプが消えます。
 - ⑪ 「手動」キーを押します。ランプ点灯。
 - ⑫ 「登録」キーを押します。
「記憶1」キーのランプが点灯から点滅に変わり記憶されます。
同じように「記憶2」「記憶3」にも記憶されます。
※「記憶1」「記憶2」「記憶3」キーを押してランプが点灯の場合には記憶されていません。

(10) 定形外用紙の記憶 1・2・3 の解除の方法

- ① 「手動」キーを押します。ランプ点灯。
- ② 記憶されている「記憶」キーを押します。ランプが点滅しています。
- ③ 「登録解除」キーを押します。
記憶していた「記憶」キーの点滅が点灯に変わり解除されます。



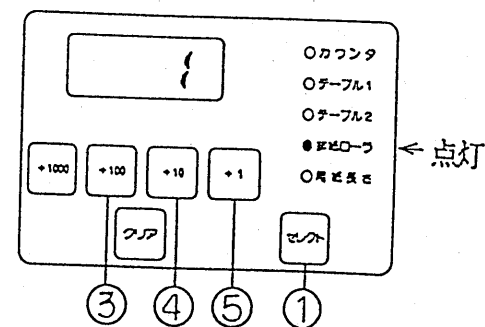
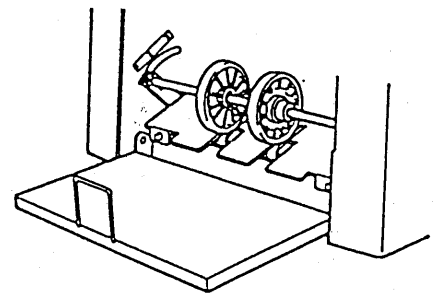
(11) 排紙ローラーの位置調整の方法

- ・排紙がスムーズにいかない場合に排紙ローラーの位置を調整してください。
- ・用紙サイズと排紙ローラーの位置の関係

	排紙ローラー1	排紙ローラー2	排紙ローラー3
定形用紙	A 3	B 4・A 4	B 5・A 5・B 6
定形外用紙	任意に設定します。		

- ・「手動」キーを押します。ランプ点灯。

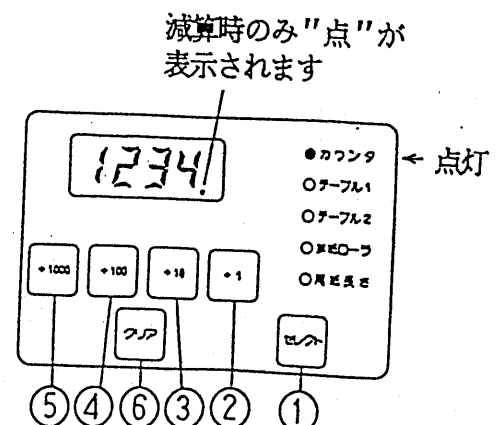
- ① 「セレクト」キーを押して排紙ローラーのランプを点灯させてください。
- ② カウンター表示部に排紙ローラーのセット位置が数字で表示されます。
- ③ 3桁 $+100$ キーを押しますとカウンター表示部は数字の1を表示して、排紙ローラーの位置も1に移動します。
- ④ 2桁 $+10$ キーを押しますとカウンター表示部は数字の2を表示して、排紙ローラーの位置も2に移動します。
- ⑤ 1桁 $+1$ キーを押しますとカウンター表示部は数字の3を表示して、排紙ローラーの位置も3に移動します。



(12) 減算カウンターのセットの方法

- ・カウンター入力キーを押してセットします。

 - ① 「セレクト」キーを押してカウンターを点灯させます。
 - ② 折りたい数の1桁目を減算1桁キー $+1$ を押します。
1回押すごとに1. 2. 3...と替わります。
 - ③ 折りたい数の2桁目を減算2桁キー $+10$ を押します。
1回押すごとに1. 2. 3...と替わります。
 - ④ 折りたい数の3桁目を減算3桁キー $+100$ を押します。
1回押すごとに1. 2. 3...と替わります。
 - ⑤ 折りたい数の4桁目を減算4桁キー $+1000$ を押します。
1回押すごとに1. 2. 3...と替わります。
 - ⑥ 「クリア」キーを押しますと表示部は0表示になります。



(13) 「点検ランプ」部が点滅している時の処理の方法

(1)電源スイッチを入ると点滅した場合

*テーブル1・テーブル2のコネクターが外れているか、テーブル内に紙等の異物があり、ストッパーピンが移動出来ない時表示します。この場合、電源スイッチを「切」にし、コネクターのセットを確実に差し込むか、テーブルを外しテーブル内の異物を取り除き再セットしてから再び電源スイッチを「入」にしてください。

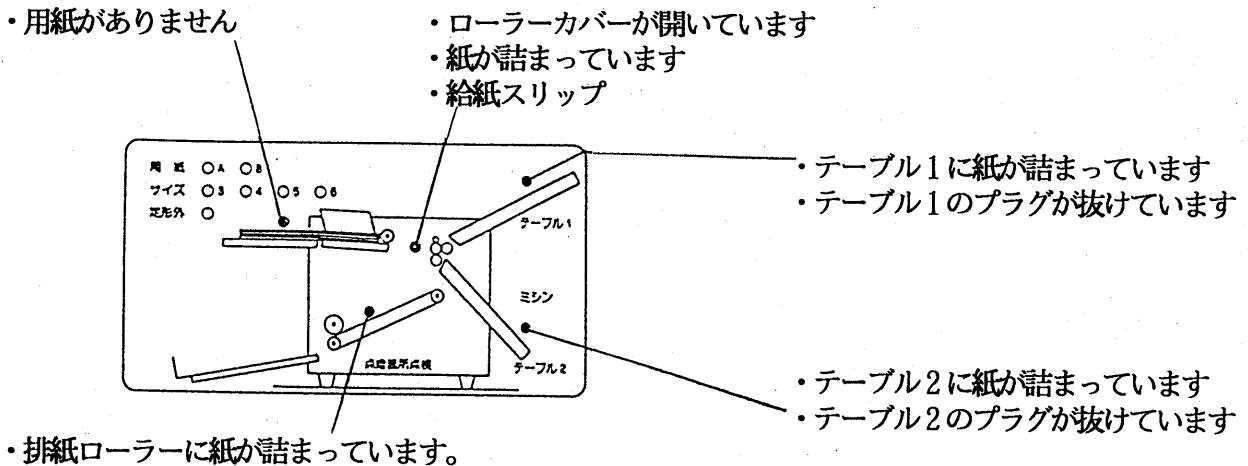
*テーブル1・2のストッパーピンをテーブル1、6～30cm・テーブル2、6～20cmの範囲内にストッパー微調整ツマミで移動させてください

*給紙テーブルに用紙がありませんから、用紙を積んでください。

(2)給紙途中で点滅した場合

*ランプ点滅部分を点検し、原因を調べ、紙詰まりの場合は用紙を取り除いてから「リセット」キーを押すとランプ点滅は消え、「スタート/ストップ」キーを押しますと紙折りを始めます。

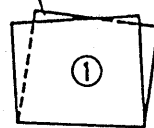
【ランプ点滅の原因】



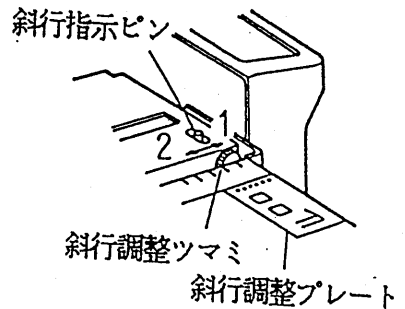
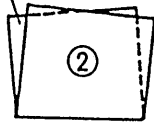
(14) 斜行調整の使い方

・用紙断裁時の曲がり、その他の原因で用紙の角がずれている場合は曲がりを補正する斜行調整ツマミで曲がりを修正することが出来ます。

①排紙された用紙の下面が右へ曲がった場合は斜行調整ツマミを右方向1に廻してください。



②排紙された用紙の下面が左へ曲がった場合は斜行調整ツマミを左方向2に廻してください。



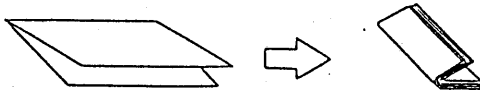
※2つ折りの場合はテーブル2で折られた面を下にし、その他の折りは全てテーブル1で折られた面を下にし、(但しテーブル1以外折られた箇所は伸ばす様にして図を参照するとわかり易い) 図を参考に給紙テーブルの調整を行ってください。(折られた面は11ページ「折り位置調整のしかた」の表を参照してください)

※斜行調整使用後は必ず元の位置に戻してください。

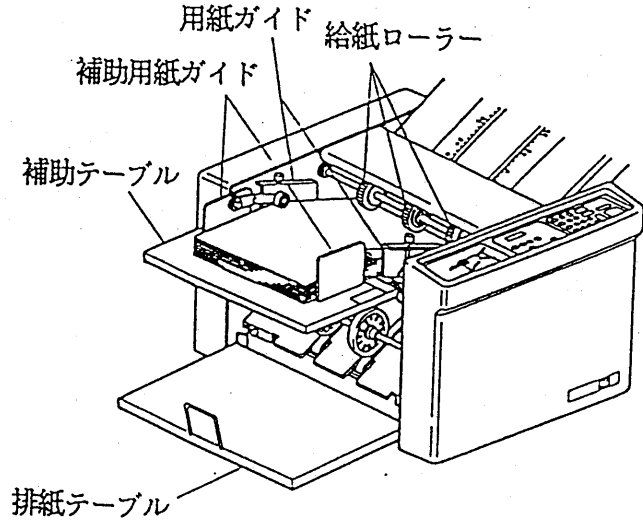
(斜行指示ピンが給紙テーブル長孔の中央にある様にしてください。)

(15) 特殊な折り形 (クロス折り)

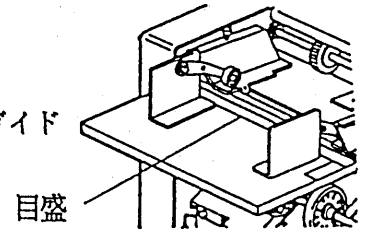
〔例〕 2つ折りした用紙をさらに4つ折りする様な場合



- ① 2つ折りした用紙を給紙テーブルに載せ用紙ガイド
右左を用紙に密着させて固定します。
- ② 右左の給紙ローラーのネジをプラスドライバーで緩めて
用紙の両端を押さえる位置にセットします。
- ③ 補助用紙ガイド右左を右図の様に置き、先端のペア
リングが用紙のふくらみを押さえる様におきます。



※目盛より手前に補助用紙ガイド
をセットしてください。



- ④ 「折り形」キーの「4つ折り」を押します。

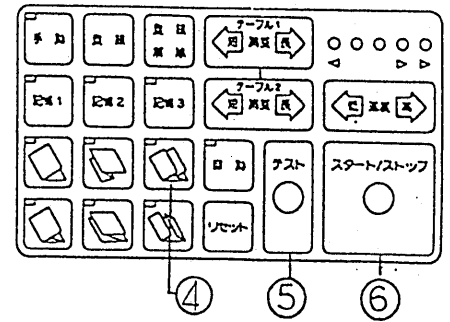
- ⑤ 「テスト」キーを押して折り位置を確認します。
※折り位置修正は、11・12ページの「折り位置修正のしかた」を参照してください。

- ⑥ 「スタート/ストップ」キーを押して、紙折りを始めます。
※カウンター表示は「0」は加算カウンターにセットされています。

※減算カウンターについては、枚数を入力してください。

※最初の折りは折り重ねの少ない折り形で、折ってください。

〔例〕 2つ折りと4つ折りの場合
1度目に2つ折りをしてから2度目に4つ折りをします。



※用紙の折り目は手でもう1度シゴいて折り目がふくらまないようにしてください。

※用紙はよく揃えて給紙テーブルにセットしてください。

※「リセット」キーと「テスト」キーを同時に押しますと、給紙テーブルが上がります。

※1枚目の用紙を、給紙ローラーを回して1cmくらい先に進めておきますと、スムーズに給紙できます。

3 お手入れについて

(1) バッテリーの交換

ご使用開始後3～5年経過して、折り位置調整の記憶機能が働かない場合はバッテリーの寿命です。電源をOFFにすると記憶データが消える状態となります。指定の「バッテリー基板」については、販売店又は当社営業担当者までご連絡ください。

(2) 清掃

①清掃をする時には必ず電源スイッチを切ってください。

②折りローラーに紙粉やホコリ等が溜まると紙折りに支障をきたすことがありますので、使用しない時は機械カバーを掛けて置いてください。

③折りローラーに紙粉及び印刷物のインキが付着しますと、シワ、紙づまり等、トラブルの原因になりますので次の要領で定期的（1ヶ月に1回）に下記のクリーニングキットを用いて清掃してください。

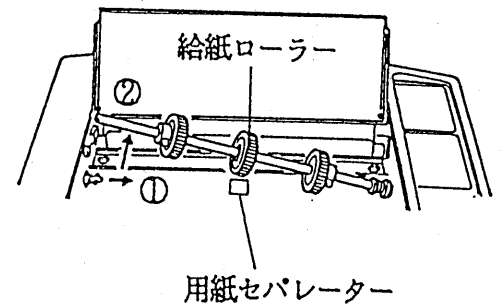
イ. テーブル1・2を取り外します。

ロ. クリーニングキットで折りローラーの表面を拭き取り除きます。

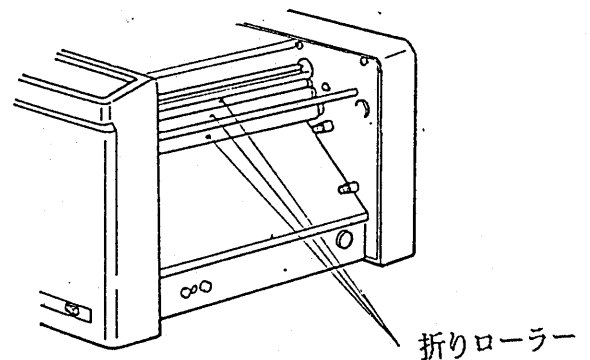
④紙粉及び印刷物のインキ等が給紙ローラーや用紙セパレーターに付着しますと給紙性能が低下し、紙詰まりやスリップが起りやすくなるので、時々清掃してください。

イ. 給紙ローラーの表面をクリーニングキットで汚れを取り除いてください。

ロ. 右図番号順に動作して給紙シャフトを外して用紙セパレーターの清掃をしてください。



⑤外装部の汚れ —— アルコール又は清掃用クリーナーをご使用ください。溶剤系の洗浄液は変色の原因になることがありますので、使用しないでください。



⑥クリーニングキット（別売）型番 141-0070

- ・ゴムローラー清掃金具（フェルト付）とクリーナー（スポイト付）がセットになっています。
- ・給紙ローラー・用紙セパレーター・折りローラー専用の清掃液キットです。

(3) 消耗品について

①製品に使用されている給紙ローラー、ブレイキゴム、用紙セパレーターは消耗品です。

②折りローラーについては、6ヶ月の限定保証とさせていただきます。

4 故障と思う前に


(1) トラブルの内容と対策

現象	推定原因	対策
電源を「ON」にしても操作パネルに表示がない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが抜けている ブレーカーが働いている 機械内部の異常 	<p>電源プラグを差し込んでください。</p> <p>ブレーカーをリセットしてください。</p> <p>修理が必要です。</p>
「スタート/ストップ」キーを押しても機械が動かない(ランプ点滅箇所)	<ul style="list-style-type: none"> 給紙テーブルに用紙がない ローラーカバーが開いている テーブル1のプラグが抜けている テーブル2のプラグが抜けている 給紙部で紙づまり ローラー部で紙づまり テーブル1で紙づまり テーブル2で紙づまり 排紙ローラーで紙づまり 機械内部の異常 	<p>用紙をテーブルにセットしてください。</p> <p>ローラーカバーを閉じてください。</p> <p>プラグを差し込んでください。</p> <p>プラグを差し込んでください。</p> <p>用紙を取り除いてください。</p> <p>修理が必要です。</p>
「スタート/ストップ」キーを押して機械は動くが紙を送らない	<ul style="list-style-type: none"> 用紙セットの不良 用紙のスリップ 	用紙をテーブルに確実にセットしてください。
紙づまり・重ね送り・空送りが多発する	<ul style="list-style-type: none"> 給紙ローラーが汚れている 用紙セパレーターが汚れている 折りローラーが汚れている 用紙がカールしている 給紙ローラーの磨耗 用紙セパレーターの磨耗 	<p>給紙ローラーの汚れを落としてください。</p> <p>セパレーターの汚れを落としてください。</p> <p>折りローラーの ” ”</p> <p>用紙のカールを矯正してから給紙テーブルにセットし直してください。</p> <p>給紙ローラーを交換してください。 (販売店へ連絡してください。)</p> <p>用紙セパレーターを交換してください。 (販売店へ連絡してください。)</p>
用紙が汚れるシワが発生する	<ul style="list-style-type: none"> 給紙ローラーの汚れ セパレーターの汚れ 折りローラーの汚れ 	各ローラー、セパレーター・折りローラーの汚れを落としてください。
折りローラー部分で異常音がある	<ul style="list-style-type: none"> 折りローラーの汚れ 	折りローラーの汚れを落としてください。
用紙を1枚しか給紙しない	<ul style="list-style-type: none"> 排紙センサーの汚れ 	排紙部より手を入れ、真ん中の給紙ローラーの真下にある排紙センサーを清掃する。
記憶データが消える	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー基板の寿命 	販売店へ連絡してください。バッテリー基板の交換

(2) 故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店又は当社営業担当者および、お客様相談センターまでご連絡ください。

■お客様相談センター

フリーダイヤル  0120-077-266

5 仕 様

(長さの単位：mm)

形 式	F-45A
用 紙 寸 法	B7判 (91×128mm) ~ A3判 (297×420mm) (B7は2つ折りのみ)
用 紙 重 量	40~90kg (更紙・上質紙・上質孔版紙・中質紙) (2つ折りは135kgまで可能)
折 型	2つ折・観音折・内3つ折・外3つ折・4つ折・片袖折・その他変形折・2回折りによるクロス折
折 り 寸 法	最大折り寸法 320 mm (テーブル1で折れる最大折り寸法) 外3つ・4つ・片袖折りの時 217 mm (テーブル2で折れる最大折り寸法) 2つ・観音・内3つ折りの時 最小折り寸法 45 mm (テーブル1で折れる最小折り寸法) 観音・内3つ折りの時 43 mm (テーブル2で折れる最小折り寸法) 2つ・外3つ・4つ・片袖折
給 紙 方 式	3輪紙サバキ方式・給紙テーブル自動昇降・斜行調整付
給 紙 積 載 量	500枚 (上質紙55kg)
処 理 速 度	2800枚~7200枚/時 (B4判 2つ折り時) 5段階
操 作 方 式	マイコン搭載によるデジタルキー設定方式
付 加 機 能	<ul style="list-style-type: none"> ★4桁加算・減算 (オートリピート機能付) デジタルカウンター ★紙なし・紙づまり検出・自動ストップ/ブザーと紙づまりマップ表示 ★終了時自動ストップ (ブザーで知らせる) ・排紙ローラー3段階位置自動切換 ★用紙サイズ (A3・B4・A4・B5・A5・B6) 自動読み取り機能 ★微調整の記憶機能・36通り (6種類の用紙サイズ×6種類の折り形) ★特殊折り登録機能3通り・用紙サイズ入力による折り位置自動設定機能 ★クロス折り用補助用紙ガイド付・オプションとしてミシン目取り付け機能
消 費 電 力	80W
使 用 電 源	100V 50/60Hz
機 械 寸 法	835 (W) × 515 (D) × 480 (H) (使用時) 620 (W) × 515 (D) × 480 (H) (収納時)
機 械 質 量	31.5kg
オ プ シ ョ ン	F-45A用ミシン目テーブル (ミシン目カッター4mm) 重量4.3kg

本機は仕様及び外観は改良のため、予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

取扱説明書

この「取扱説明書」はいつでもお読みになれるよう保管場所を決めて、大切に保管してください。

また、この「取扱説明書」を汚されたり、紛失された場合は、販売店か当社営業担当者、又はお客様相談センターまでご連絡して、内容を確認のうえ請求してください。

この製品を譲渡される場合は、次の所有者にこの説明書を必ず添付して譲渡してください。

●故障の場合

修理が必要な故障の場合は、販売店または当社営業担当者及び以下のウチダテクノまでご連絡ください。

■株式会社ウチダテクノ

部門・部署名	〒	所在地	TEL	FAX
東京	104-0033	東京都中央区新川1-10-14 ニューリバービル 2F	(03)5657-4071	(03)5657-4081
大阪	540-8520	大阪府大阪市中央区和泉町2-2-2 ㈱内田洋行内 3F	(06)6920-2446	(06)6920-2498
札幌	060-0041	北海道札幌市中央区北1条東4-1-1 サッポロファクトリー ㈱内田洋行内 1F	(011)241-2825	(011)241-2827
福岡	812-0008	福岡県福岡市博多区東光2-10-11	(092)476-5011	(092)476-5009
名古屋	460-0002	愛知県名古屋市中区丸の内2-4-20	(052)220-5270	(052)222-7640

●商品に関するお問い合わせ先

お客様相談センター フリーダイヤル 0120-077-266

●クリーナー

注文番号: 1-141-0074 ゴムローラー専用クリーナー